

暮らしのリスク注意報

不良灯油は危険です!

事例) 灯油が入ったまま、
長期間使用していなかったストーブに
点火したら煙が出た



タンクに残っていた古い灯油が原因かも...

灯油の保管に気を付けて

灯油は、太陽光や熱による変質、異物の混入などで、「不良灯油」になることがあります。シーズン中は、灯油専用容器に入れ、日光や雨が当たらない場所で保管しましょう。

石油暖房機器に不良灯油の使用は絶対にやめましょう

石油暖房機器に少量でも不良灯油を使用すると、点火や消火ができなくなったり、発煙などの異常が発生することがあります。また、機器の故障の原因にもなるので絶対に使用しないでください。

石油暖房機器をしまう時は・

必ず内部タンクの灯油を使い切るか抜きましょう。また、残った灯油を次のシーズンに持ち越すなどの長期保存は避けましょう。灯油の廃棄についての相談は、購入した灯油販売店などにお問い合わせください。

*詳しくは⇒「不良灯油による石油暖房機器の故障や異常に注意」(国民生活センター) http://www.kokusen.go.jp/pdf/n-20131121_1.pdf

柔軟剤の香りにご用心!

事例) 満員電車の中で、衣服からの
きつにおいにおいが悪くなった



柔軟仕上げ剤(柔軟剤)は、衣類をソフトにし、肌触り良く保つことをうたったもので、柔軟効果に加えて、芳香性のあるものが主流となっています。また最近では、海外製品の影響もあり、香りのより強いものが好まれる傾向にあります。

柔軟剤で健康被害に?!

柔軟剤に使われる香料によって、体調不良や呼吸器障害が起きることがあります。化学物質に過敏な人にとっては、よい香りも苦痛になってしまうことを理解しましょう。

柔軟剤をきちんと計量していますか?

柔軟剤を入れ過ぎると洗濯物の吸水性が低下することがあります。また、使いすぎは過剰な香りの原因になるので、定められた適量を使用するようにしましょう。

部屋干しに注意!!

花粉の飛ぶこの季節、洗濯物の部屋干しに気を付けましょう。通気性の少ない室内では、香料の刺激を受けやすくなります。のどの痛みや頭痛などが起きたら、柔軟剤が原因かもしれません。

*詳しくは⇒「柔軟仕上げ剤のにおいに関する情報提供」(国民生活センター) http://www.kokusen.go.jp/pdf/n-20130919_1.pdf

「リコール情報サイト」を利用して製品事故を防止しましょう!

リコールとは事業者等が製造、販売、提供した製品について、何らかの欠陥、不具合、品質上の理由等により、製品の回収・交換、無償修理や点検、注意喚起等を行うもので、法令に基づいて実施されるものと、事業者等が独自に行うものがあります。

重大製品事故の約10分の1がリコール中の製品によって起きています

リコール情報を知らなかった、あるいは知っていたが対処しなかったために、生命や身体、財産にかかわる重篤な事故が発生しているという事実があります。

安全・安心のために積極的な情報収集を

消費者庁の「リコール情報サイト」では、消費者向けのリコール情報を集約し、お知らせしています。分野別・キーワード検索等により、各自の気になる情報や最新の情報を探すことができます。また、同サイトの「リコール情報メールサービス」を利用して、アドレスを登録しておけば、リコール対象商品による事故情報や、新規のリコール情報を配信してもらうこともできます。

消費者庁「リコール情報サイト」 <http://www.recall.go.jp/>